

# HOMI わいわい農園ニュース

## N033 2026年6月10日発行

発行責任者 森 賢一 ☎090-4466-5771 Email:homiynoen@gmail.com

5月14日(木) 中野ゼミ 20名の学生たちが、ジャガイモ畑のわき芽取りと土寄せ、草刈り・・・



5月24日(日) 晴、渋谷、斎藤、中野、ヴロジミル・木村夫妻、タカキ親子、奥村親子、河瀬近藤、前野、ネイア、ジオケニ、ナオミ、平野、林、築山、佐久間、佐々木森、計21名。この日は、豊田市広報やTVの取材がありました。取材は6人、加藤史也(豊田市広報)、吉野、木下(豊田市共創課)、伊集院(ひまわりTV)。



ミニトマト、サツマイモ、ウリとスイカの定植、キュウリやトマトのネット張り・・・ジャガイモ、玉ねぎ、にんにくの収穫に歓声!

花壇の草取りや水撒き、水揚げポンプで水槽に水を満たす、耕運機で畝たてなど・・・

5月28日(木) 晴、中野ゼミの学生たち、すっかり畑に慣れてジャガイモ掘り、収穫!



5月29日（金）晴、逞しい70人学生たちの短時間研修！



快晴に恵まれたこの日、中京大学の神田すみれ先生が、提案・呼びかけで、大勢の逞しい体育学部の学生と少数の社会学部の学生たち、70名が午前11時30分までに「HOMI わいわい農園」に集まりました。大きなテントをはみ出してぎっしりの学生たち、森代表の10分余りの話（農園の概況と成立から今日までの経過、日系ブラジル人たちとの多文化共生活動の前進と大切さなど・・・）を、静かに真剣に聞き入っていました。その後短時間でしたが、学生たちは草取り、花壇への水やり、池を囲うネットの修復など自主的な農作業を体験してもらいました。

終わった後も「90歳、健康と活動」などについて質問やら激励など何人もの学生から話しかけられ、かえって森代表の方が励まされました。この日の天候の様にさわやかな時間が過ぎた、ひと時でした。終わった後の神田先生からのメールでも「あのあと何人かの学生から農業って楽しい！とか、草取りしたのは小学生以来と、嬉しいコメントを聞きました」とありました。



5月31日（日）晴 突然、農園を訪れた研究者たち・・・



今日は一人で、花壇や畑の水撒きジャガイモ畑の草刈りや台風対策などで作業していました。

10時ごろ、（電話が繋がらず）突然でしたが4人の来園者がありました。

豊田市多様性社会共創課・平田崇さんの案内で、和田貴子（長久手市・KOTOBA PROJECT）、福村真紀子（茨城大学）、中島武史（兵庫教育大学）の三人の研究者が「HOMI わいわい農園」に来られ、森代表から短時間のお話を聞き農園を見学されました。丁度ネイア&ジオケニ・ワダウエさんたちのバーベキューの昼食会が開かれており、飛び入りで御馳走になりながら歓談できました。（この項は森）

【6号台風一過・6月台風は14年ぶり、しかし農園は無事・・・】

全国も愛知県も大きな被害はすくなく、ほっと！農園の野菜や花たちは久しぶりの大雨に大喜び、そして、テントやサイクル・ハウスは無事でした。

【次回の協働作業日は、6月14日（日）午前9時～12時です】

ジャガイモは、そろそろ収穫の時期かも、でも梅雨に入るので天気は心配です。

【7月11日（土）or18日（土）のお昼前後、シュハスコ交流会（中京大生中心）】